



# のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成28年2月1日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



カルタ大会 ※写真の説明はP8下段参照

## 第43号の内容

- 12月定例会議の一般質問・・・・・・・・・・ P2-3
- 特別委員会・行政視察受入・・・・・・・・・・ P4-5
- 12月定例会議の議案質疑・議会議案・・・・・・・・ P6
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・ P7
- 議会活動と編集後記・・・・・・・・・・ P8

# 第43号

# いっぱん質問

## 12月定例会議の一般質問



市濱等 議員

### 問 集会所の維持管理 全町同等公平に

旧内浦地区に点在する地域集落所有で、集落が管理する集会所施設を町営指定管理施設と同等な処遇、管理方法を検討できないか。

### 答 地域の負担軽減策を検討する

町長 町が所有する集会所施設では修繕費は全額町が負担をしている。地域所有の施設については、地域も負担することによって、不公平さが生じている。今後地域の負担軽減策を検討する。

### 問 一次総合計画に於ける 中学校三校体制の現状は

児童生徒の成長は早い手をこまねいていると、時間だけが過ぎてゆく。生徒たちが中途半端で充実感のない学校生活にならないか、教育関係者は前向きな、繊細で大胆な環境づくりを行うべきではないか。

### 答 松波と小木中統合に向けた合意を

町長 子供たちが生きる力を培うことができる学校教育を保障する観点からも、教育環境の充実が第一だ。両地区の合意を図りながら進めたい。



椿原安弘 議員

### 問 能登町創生人口ビジョンと創生総合戦略は

10月に策定された創生人口ビジョンと創生総合戦略(注1)の基本的な方向性は。

### 答 人口減少対策として4つの戦略を

町長 人口ビジョンは2060年に、国の推計値より20000人多い、6500人とした。総合戦略は、本年度から5年間で取り組む人口減少対策の4つの戦略を掲げた。積極戦略として雇用創出など、人口減少に歯止めをかけるための戦略を3項目、調整戦略として、高齢化に対応したまちづくりなど、人口

減少に対応した戦略を1項目掲げた。

### 問 新年度予算編成と 主要事業

新年度の予算編成にあたり、各課長に対し編成方針をどのように示したか。また、主要事業をどのように考えるか。

### 答 消防庁出津分署移転及び新庁舎基本設計計上

町長 国勢調査人口の減少などによる交付税の影響を見据えながら、健全で持続可能な財政運営ができるよう編成方針を伝えた。主要事業は、ハード事業では津波浸水区域である能登消防署を宇出津分署として移転を予定し、衛生センターの全面改良、役場新庁舎の基本設計、継続事業で県営圃場整備や道路整備交付金事業、駅山手線街路整備、小木都市計画再整備を、ソフト事業では、10

月に策定した能登町創生総合戦略に基づいて、一次産業の活性化や定住促進、子育て支援等の具体的な施策を取り入れていきたい。

(注1) 創生人口ビジョン・創生総合戦略とは【人口ビジョン】

人口ビジョンは、町の人口の現状と将来の姿を示し、人口減少問題について町民との共通認識を図り、2060年(平成72年)に向けて目指すべき将来の方向性を示したものの。

### 【総合戦略】

人口ビジョンを踏まえ、平成27年度を初年度とする今後5年間で取り組む具体的施策や数値をまとめたもの。外部有識者による能登町創生総合戦略推進会議をはじめ、町民アンケートや各種団体との意見交換等の意見を参考としている。

総合戦略の内容については、町ホームページをご覧ください。



田端雄市 議員

**問** 成人用肺炎球菌ワクチンの接種率を上げよ

肺炎の死亡原因の順位が第3位となっている。厚労省として国民にとり、この事業の周知を徹底するべき。

**答** 繰り返し返しの周知が大切

**町長** 10月末現在、接種率が15.8%で低い。高齢者の健康保持には感染症の予防が大事、繰り返し返しの周知が大事と考える。

**健康福祉課長** 1月の広報に対象者の生年月日を明記し、周知する。不明なことは問い合わせる。

**問** 女性ががん検診に子宮体がん検診補助

子宮体がん(注2)は40代後半から60代に発症が多い。子宮頸がんにも補助があり、同時に検診ができることも考慮し、補助を要望する。

**答** 今後は、補助について検討していきたい

**町長** 現在のところ、発症率が他のがんと比べ、低いこと。また、自覚症状で気づくこともあるので、医療機関が早期の受診を奨励している状況である。今後は、補助について検討していきたい。

(注2)

**【子宮体がん】**  
子宮の内側を覆う内膜から発生するがん。

**問** 庁舎建設について

庁舎建設についてより丁寧な説明を。建設のロードマップを示せ。丁寧な説明を重ね、町民から望まれる庁舎の誕生を期待する。

**答** 総合的に建設が必要と判断

**町長** 識者の方々の本庁・支所検討委員会の提言の一番のネックは財源であった。それがクリアできた今、現庁舎を耐震化しても、寿命が20年ほどと考え、施設や設備の老朽化を思うと総合的に建設が必要と判断した。今後のスケジュールとして、現在町民から募っているご意見、議会からの意見を参考に平成28年度中に基本設計を作成し、31年度までに完成をさせたい。



南正晴 議員

**問** キリコ祭りの今後について

日本遺産に認定されたキリコ祭りであるが、少子高齢化で担ぎ手が不足し、祭りでキリコが出せない集落がある。行政でテコ入れはできないか。また、キリコの保存ができる施設の建設は考えられないか。

**答** 地域と連携しキリコ祭りの維持に貢献

**町長** 祭り文化体験事業等で大学生に準備から担ぎまで体験を行ったりしており、町としては引き続き大学生など担ぎ手の確保を地域と連携してキリコ祭りの維持に貢献できるようにしたい。

**問** キリコを題材とした映画ドラマ誘致を

キリコを題材とした映画なりドラマを誘致してはどうか。

**答** ドラマ等の方面に働きかけを

**町長** 映画は費用がかかるが、ドラマ等の方面に働きかけを行うようなことも思っている。



**問** 河川危険性を聞く

9月に上陸した台風18号の影響で鬼怒川の堤防が決壊し茨城県常総市を中心に大災害が発生した。当町の河川管理の状況は。

**答** 町としてしっかりと安全対策を執りたい

**町長** 町内には県管理の2級河川が11河川。町管理の普通河川が87河川ある。町では建設業協会と連携し毎年春先に普通河川の通常パトロールを実施し、堤防や護岸等の施設点検を行っている。

(その他の質問者)  
向峠茂人 議員

まち・ひと・しごと創生特別委員会活動

しごと分科会が

各農協と意見交換会

11月20日、まち・ひと・

しごと創生特別委員会しごと分科会は、おおぞら農協能都支店及び内浦町農業協同組合において各農協関係者等と「能登町の農業の現状と課題」について意見交換会を実施した。

午前10時からおおぞら農協能都支店で議員5名と農協関係者12名が参加。午後1時30分からは、内浦町農業協同組合で、組合長、農協関係者11名、議員5名参加により活発な話し合いが行われた。

【おおぞら農協】

支店長より、農協にとっても組合員の減少、平均年齢についても60歳を超え、人口減少問題は、町のみならず能登全体の課題というふう認識しているとのことであるとの発言の後、さまざまな意見が出された。  
(主な要旨)



JA おおぞら農協能都支店

組合員数については、3年間で522名程度減少。販売高の推移については、米穀・園芸・畜産で23年度で19億、26年度で20億。米と畜産が二本柱。能登の7JAが協力して能登米・棚田米として少しでも価格を上げたいということを取り組んでいる。

若い人が来ない。中途半端な6次化ではだめである。町の方で雇用方策は、遊休施設を活かしてもraithたい。

下請け事業については、11月から2月末は、雇用機会がない。



内浦町農業協同組合

荒廃地に対する課税強化の動きは、借りる方向に話をするよう残された土地についても、政府にそれを含めるようにと要望を。

米価上げについては、地域全体の底上げを。能登牛の現状と課題については、地元でやろうとする人がいない。初期投資が大きく取り組んでいる人は、2〜3人。

【内浦町農協】

組合長より、地域に根差した農協として努力し、人口減少問題もあるが、当面、事業維持が図られており合併の必要がないのではとのことのお話の後、意見交換が行われた。  
(主な要旨)

経済事業売上8億7千

万円。野菜販売高2億3千万円。組合員数の推移については、正組合員(約900名)の高齢化が相当程度進行している。組合員の流出防止と定着化を図る。

農と地域の結びつき強化、管内農業の価値向上を。園芸産地であるので、施設園芸みたいな形で、トマトハウスの試験栽培を活かす。

以前の解散した農産公社の農協で管理している農器具を新たな担い手育成のために活用してもらいたい。

能登産業技術専門校で施設園芸のような農業関係科の設置により、定年後の担い手育成を図ればどうか。

定年後、魚釣りや農業がしたい人のための空き家対策・環境づくりを。米品質向上のため色彩選別機の補助増を。

能登牛・能登杜氏ミュージアムのような道の駅を。

三重県熊野市議会より行政視察に

10月9日、午前9時半から役場3階研修室において、三重県熊野市議会の7名の議員が当町議会を訪問され行政視察研修が行われた。

その他の質疑等もあったが、熊野市においても高齢化率が高く当町と同じ課題を共有しているようであった。

持木町長、鍛冶谷議長の挨拶の後、熊野市議会の下田議員の挨拶があり、研修事項としては、ふるさと空き家制度、ふるさと定住・住宅助成金、能登町まちづくり合宿等助成金、能登町縁結び隊、家族団欒食育の日について、当町職員から説明のあと質疑応答がなされた。

熊野市議からの主な質問事項は、以下のとおり。

町づくり合宿助成金について、送迎バスの助成金、スポーツ合宿は、縁結び隊では、婚活イベントの企画については、食育の日では、三世代家族について、家族団欒ノー残業デーについての職員の考え、町民の評価について。



地方創生講演会

講師 井上恭介 氏

演題 里山資本主義 里海資本論

12月9日、役場4階ホールで「町民みんなで町づくり」をコンセプトに、能登町議会まち・ひと・しごと創生特別委員会主催により開催され、250人が参加。株式会社NHKエンタープライズ、エグゼクティブ・プロデューサー、井上恭介氏をお招きし、國盛孝昭委員長の挨拶に続き講演が始まり、地方創生に向けて会場は思いを新たにしていた。（講演より抜粋は、次の通り。）

る、ちゃんとした里山とか里海のある田舎に行つて、ほんとうにその地元で食べているおいしいものが食べたいと。サバのすき焼きもどうでしょうかと僕は思います。

ちの所で出来たものを自分たちで食べてほしいんですよ。で、自慢してほしいんですけども、それが経済としても地元のためになつていてということとを改めて自覚してほしい。経済においては、地産地消も大切。まちの中にあるお金は減らないのです。収入の方ばかり見ないで、家計簿は、支出の方を見てもらいたいの。たまには、山に入つてまきを拾つたり山菜を採つたり。そのほうが便利な暮らしをしているよりも質が高い、文化的にそちらの方が高いと言われる時代になつてきたんですよ。薪で炊いたご飯のほうが今、褒められるし。豊かな生活の方が前にあつて、その結果、お金も付いてくると、後先の関係が逆に、発想がなつてくれば、田舎の勝利の瞬間は近づいてくると思います。世界基準という

こちらは、里山も里海もこんなに近くにあり、中国地方で里山と里海やつとる時は、山は、だいぶ山奥にあり、海は、瀬戸内海という今ではほんとうにいい海があるんですけども、海の方と山の方が交流するのは、よつぽど意識があつてという方はされてますけど。なかなかそういうふうにならないのが普通なんです。能登の場合、田んぼでお米を育ててハザで干されている、そのすぐ向こうに牡蠣を養殖されている風景あつてみたいなことが普通にある、これは世界でもなかなかないんですよ。能

登のことは、皆さんの方が御存じで。今日みなさんがお集まりいただいたことが、何かの出発点になるにちがいない。

いブランドを作つた方がいいです。ですが、この里山とか里海とかいつているものは、ある種その戦いには乗らないよ。能登という場所は、地球上他にない訳ですから。ここで採れる。ブランド名のついていない。先ほど控室で聞いたんですよ。サバのすき焼き。地方経済で地方創生という時にされるのは、似たような感じで大量に作るみたいなことで勝負してませんか。最近インバウンドという言葉がありますが、このごろは台湾などからのたびたび来日する外国人観光客が、そろそろ自分だけが知つてい

私は京都出身といいましたので、京都の食べ物と京都市の人は、おいしいと言いますが実は、地元物の自慢の仕方がうまいのですよ。伊勢・志摩へ取材に行つたんですけど、自慢の仕方が解つておられなかった。能登の場合、日本のなかで佐渡とともに世界遺産に認定され、里山里海として認められた。よそよりもレベルが高いんですよ。潜在力は高くても、有名な所の人ほど自信がない。以前取材に行つた今度サミットのある伊勢・志摩もぜんぜん自信がないと皆さんおっしゃつてたんですよ。

は、日本の里山、里海というのは、質の高い田舎であるという評価は、ほとんど上がつてきてます。例えば、近い国では、韓国ですね。私も書いてある里山資本主義が韓国でも出版されて、韓国のKBS放送から取材もあつたほどです。

グローバル資本主義の方が行くところまで行つてらんですよ。大量に作るのと単価が下がります。それが競争力です。できるだけ単価を上げて、たくさん作つて市場を制するというのが今の経済の勝ちパターンですが。日本の第一次産業の方は、その勝ちパターンに乗れないというので苦戦されている。それは、それで戦える方法を見つけた方がいいですし、い

能登の人たちは、自慢をすべきですよ。自分た

結論は、能登の自慢をしていただきたい。自慢ができるような売り方とか、人のひっぱり方みたいなことを、サバのすき焼きみたいなことを。九条ネギのごとく自慢していただくと・・・今日は、高い所からありがとうございます。

能登の人たちは、自慢をすべきですよ。自分た

能登の人たちは、自慢をすべきですよ。自分た

能登の人たちは、自慢をすべきですよ。自分た

能登の人たちは、自慢をすべきですよ。自分た

能登の人たちは、自慢をすべきですよ。自分た

能登の人たちは、自慢をすべきですよ。自分た

能登の人たちは、自慢をすべきですよ。自分た





## 議案をチェック

### 12月定例会議の議案質疑

平成27年12月定例会議の議案質疑ということ、2名の議員が様々な角度から質問した。

主な質疑、答弁は次のとおり。

**問 田端雄市 議員**

公立宇出津総合病院医師修学資金貸与条例の制定については、慢性的な医師不足に対応するものと思うが、県内で同様の条例を作っているところがあるか。あったらその効果の情報も聞きたい。また、対象者について、本人または保護者が県内に住所を有することと縛りをかけてあるのはなぜか。

**答 宇出津病院事務局長**  
県内で修学資金条例を

整備しているところは穴水町である。詳しい年間の暦年の貸与者は把握していないが何人かは貸与を受けている。

当町の対象者住所要件については、町内にするに限られてくるので、間口を広げて県内の在住で保護者も県内ということにした。

**問 向峠茂人 議員**  
補正予算の歳入で、ふるさと振興基金にふるさと納税の増大で2900万ほど増額補正となっているが、この基金は目的を持った事業に充当するよ

うな認識をもっていただけか。また、この基金は累計でどれだけ金額が基金として積み立てるのか説明

明されたい。

**答 企画財政課長**

今回の増額補正予算は6000万円の寄付金の増加が見込まれるので、事務費や返礼金の分を差し引いて約2900万円を補正した。

また、ふるさと振興基金の残高は、今回の補正を行い、今年度の見込は総額で7137万円の予定である。

また、基金をどのように使うかは、現在新年度の予算ヒアリング中であるので決まっていない。



## 「議会議案」

12月議会定例会議における議員提出議案

● 許可第1号 副議長辞職の件

● 選挙第2号 副議長の選挙について

以上2件を議会議案として、12月18日に追加提出し、許可第1号から選挙第2号までを原案のとおり可決。

許可第1号については、副議長 河田信彰氏の辞職を許可し、選挙第2号については、当選人として椿原安弘議員が当選。各関係機関に提出した。



椿原安弘議員

# 総務産業 建設委員会

國盛孝昭(委員長)

椿原安弘(副委員長)

田端雄市・市濱等

酒元法子・河田信彰

宮田勝三

## ● 駅山手線

(宇出津地内)

**問** 駅山手線の完成予定年度は

12月8日に委員会を開催し議案18件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

**答** 平成29年度の予定であるが、国の補助内示額によって変わってくる可能性があるが、現計画では29年度。

## ● 松くい虫防除事業

**問** 松くい虫防除事業について

**問** 道路関係の国庫補助金の減額について

**答** 国内示額が確定したため減額した。通常は3月議会に提出するものだが、財源手当てを起債の關係上12月に提出することとした。

## ● 財政調整基金

**問** 財政調整基金の累計額は

**答** 26億7276万9000

今後、国の補正はないとのこと、減額補正とした。

円を見込んでいる。

## ● 指定管理施設の修繕

**問** 指定管理施設の修繕費の負担について

**答** 概ね小規模なものは指定管理者で、大規模なものは、町で負担する。

## ● 議案第84号については、

教育民生常任委員会との合同審査とすることに決定した。(能登町第二次総合計画の基本構想を定めることについて)

# 教育民生 委員会

金七祐太郎(委員長)

小路政敏(副委員長)

南 正晴・向峠茂人

鍛冶谷眞一・久田良平

施設。補助事業としては、平成27・28年度を見込んで実施。

の処理施設は。

**問** 看護師等修学資金への特典を増やしては

12月8日に委員会を開催し議案7件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

**答** 修学する期間を支援することによって資格を取得するまで援助したい。町外から来る人については、看護師住宅も整備されており、その中で修学する人にたくさん来てもらいたい。

## ● 一般会計補正予算

**問** 個人番号は、役場に届出が必要か、また勤務先への届出は。

**答** 役場への届出は、不要。個人番号カードを交付する場合、通知カードが必要となる。勤務先に番号を届ける義務がある。

**問** 能登高校  
来年度からのクラス減については

**答** 地域創造学科1クラス減。

## ● 衛生センター老朽化

**問** 衛生センター老朽化については。また、福光

収蔵庫について

12月15日に委員会を開き、能登高校の募集定員の減について町長及び教育長より報告を受けた。

## 10月から12月の主な議会活動

- 10月1日 決算特別委員会（～6日）  
 10月2日 能登地区町議会連絡会（志賀町）  
 10月9日 三重県熊野市行政視察研修会受入  
 10月15日 全員協議会  
 10月21日 第5回能登町議会10月会議 特別委員会・ひと分科会  
 まち・ひと・しごと創生特別委員会 広報編集特別委員会  
 10月22日 石川県町村議会議長会臨時総会（地場産業センター）  
 10月24日 流山市民まつり（～25日）  
 10月26日 教育民生常任委員会管外視察研修（～28日）熊本県・宮崎県  
 11月2日 議会運営委員会  
 11月3日 輪島市市制施行十周年記念式典  
 11月4日 総務産業建設常任委員会管外視察研修（～6日）秋田県・東京都  
 11月10日 議長全国大会（～11日）東京都  
 11月12日 能登地区町議会視察研修 新潟県  
 11月19日 総務産業建設常任委員会  
 11月20日 特別委員会・しごと分科会意見交換会 JAおおぞら・JA内浦町  
 11月25日 議会運営委員会 全員協議会  
 11月26日 議長協議会（県社会福祉会館）  
 12月3日 全員協議会  
 12月7日 第6回能登町議会12月定例会議（議案上程）  
 12月8日 常任委員会  
 12月15日 議会定例会議（一般質問） まち・ひと・しごと創生特別委員会  
 教育民生常任委員会  
 12月18日 全員協議会  
 議会定例会議（採決）

## 次の定例会議は3月7日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。  
 ぜひ傍聴にお越しく下さい。議場が昨年3月より能都庁舎に変わっております。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

### 編集後記

昨年、12月に当町議会「まち・ひと・しごと」創生特別委員会が町民対象に開催した講演会の講師から、自分の住んでいる地域の良さを自慢することが大事だとおっしゃったが、我が町の良さを全国へアピールしなければならぬと、改めて考える機会となった。

委員 椿原安弘

### 広報編集 特別委員会

委員長 田端 雄市  
 副委員長 金七祐太郎  
 委員 員 小路 政敏  
 酒元 法子  
 椿原 安弘  
 南 正晴